

三島工業団地ニュース

午

No.10 令和8年1月1日

Vol.47 三島工業団地協同組合



謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

三島工業団地の組合員の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、2025年を振り返りますと、世界的には地政学的リスクの継続、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、人手不足の深刻化など、製造業を取り巻く環境は依然として不透明な1年でした。一方で、国内経済に目を向けてみると、設備投資やデジタル化・省力化への需要は底堅く推移し、特に高付加価値製品や技術力を有する中小製造業に対する期待は着実に高まっています。

2026年においても、急激な環境改善は見込みにくいものの、環境規制への対応、カーボンニュートラル、DX・GXの進展などは、私たち機械金属関連企業にとって新たな事業機会を生み出す可能性を秘めています。変化の激しい時代だからこそ、「小回りが利く」「現場力がある」「技術を磨き続けてきた」私たち中小企業の強みが、より一層発揮される年になると考えています。

組合員の皆さまは、それぞれが異なる技術やノウハウを有しながらも、地域に根差し、互いに支え合って歩んできました。個社では乗り越えがたい課題も、団地として知恵や情報を共有することで、新たな解決策が生まれることも少なくありません。2026年は、改めて「連携」「協調」の価値を見つめ直し、団地全体の底力を高める1年にしたいと考えます。

組合事務局といたしましても、情報提供の充実、環境整備の推進、組合員相互の交流促進に努め、皆様の事業活動を側面から支えてまいる所存です。

本年が、組合員各社にとって実り多く、次の成長につながる1年となりますよう心より祈念申し上げるとともに、引き続き団地運営へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年 元旦 事務局 原 要

